

Sikaplan®

シーカプラン



免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。

実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

塩化ビニル樹脂系シート防水 長期保証システム

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dyflex.co.jp/bousui/>にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2024年8月版
(24.8月現在) 24.08.500 SJ

塩化ビニル樹脂系シート防水 長期保証システム

50年以上にわたり世界の屋根を守り続けてきたシーカプランは、厳しい品質管理体制の下で耐久性や品質にこだわり続けてきました。そして日本においては革新的な加熱装置や細部まで計算された副資材により、施工品質の向上を更に追及した画期的な防水システムです。今回、施工体制やディスク固定数などを高耐久仕様として再設計し、シーカプランだからこそできる画期的な長期保証システムを実現しました。

防水保証は修繕周期を決める重要な工事項目の一つとなっています。そして防水の10年を超える長期保証による修繕周期のロングスパン化は、ライフサイクルコストの削減はもちろんのこと、現代社会が抱える少子高齢化や建物老朽化問題の解決、資金計画の有効な手立ての一つとして大きな注目を集めています。シーカプラン長期保証システムは、こうした背景の中様々な側面から建物の長寿命化をサポートする、シーカ・ジャパンの新しい提案です。

長期保証システムの概要

保証年限

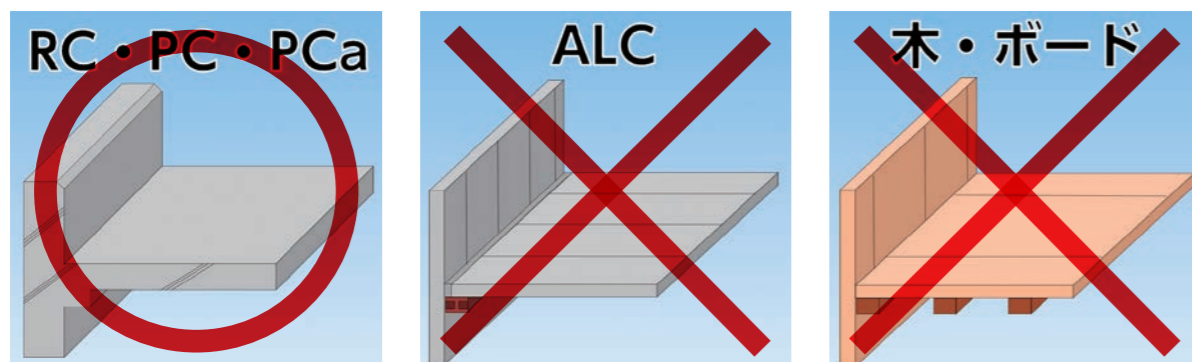
最長15年保証

施工体制

指定の講習会を受講・修了し、かつライセンス試験に合格した会員による施工となります。
※講習会等についての詳細は、弊社担当営業までお問合せください。

適用下地

コンクリート系下地のみ可。 ※ALC・木質等の、下地強度が確保しにくい下地は適用不可。



防水仕様

防水シート：塩化ビニル樹脂系シート防水 シーカプラン20G ライトグレー／ホワイト

※スレートグレーを使用した場合、長期保証システムの対象外となります。

防水工法：非断熱及び外断熱の機械的固定工法

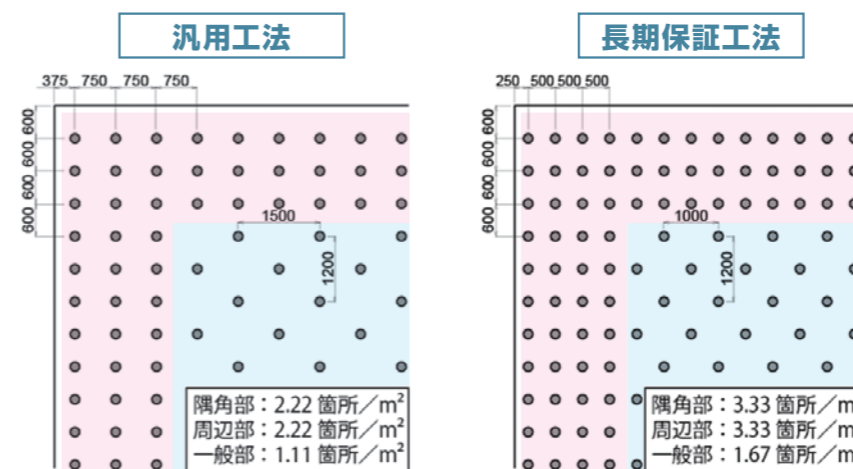
※現場の立上りや基礎廻りの状況により、「1成分形ウレタン塗膜防水材（立上り用）」と組み合わせたハイブリッド工法が可能です。

※「ハイブリッド工法」における立上りのウレタン塗膜層の塗布量は2.6kg/m²とし、トップコートは「アクリルシリコン樹脂トップコート2回塗り」となります。

ディスク固定

シーカプラン汎用工法割付数の1.5倍の固定数

※以下、割付図は「非断熱、建物短辺長さが18m未満」の場合。



IWシステム



IW自動加熱装置

アンカー引抜強度試験の実施

アンカー引抜強度試験は、事前確認事項として必須となります。この試験結果を基に、耐風圧計算書を作成し、ディスクの割付を行います。

※弊社の耐風圧性基準は、建築基準法、建築基準法施工令（第82条の4）、告示第1454号、1458号に基づき算出された風圧力に対し、固定強度が2倍以上の安全性（安全率200%以上）を社内基準としておりますが、長期保証システムでは、風圧力に対して300%以上の安全率とします。



※写真は一例です。

オプション：ピンホール検査

ピンホール検査は、電気放電を利用して塩ビシートの損傷箇所を発見する検査です。検査器から放電される電気は、絶縁マット「SPLマットAL」表面のアルミ箔と反応します。

注) 「SPLマットAL」と「IWディスクスペーサー」は必ず使用すること。



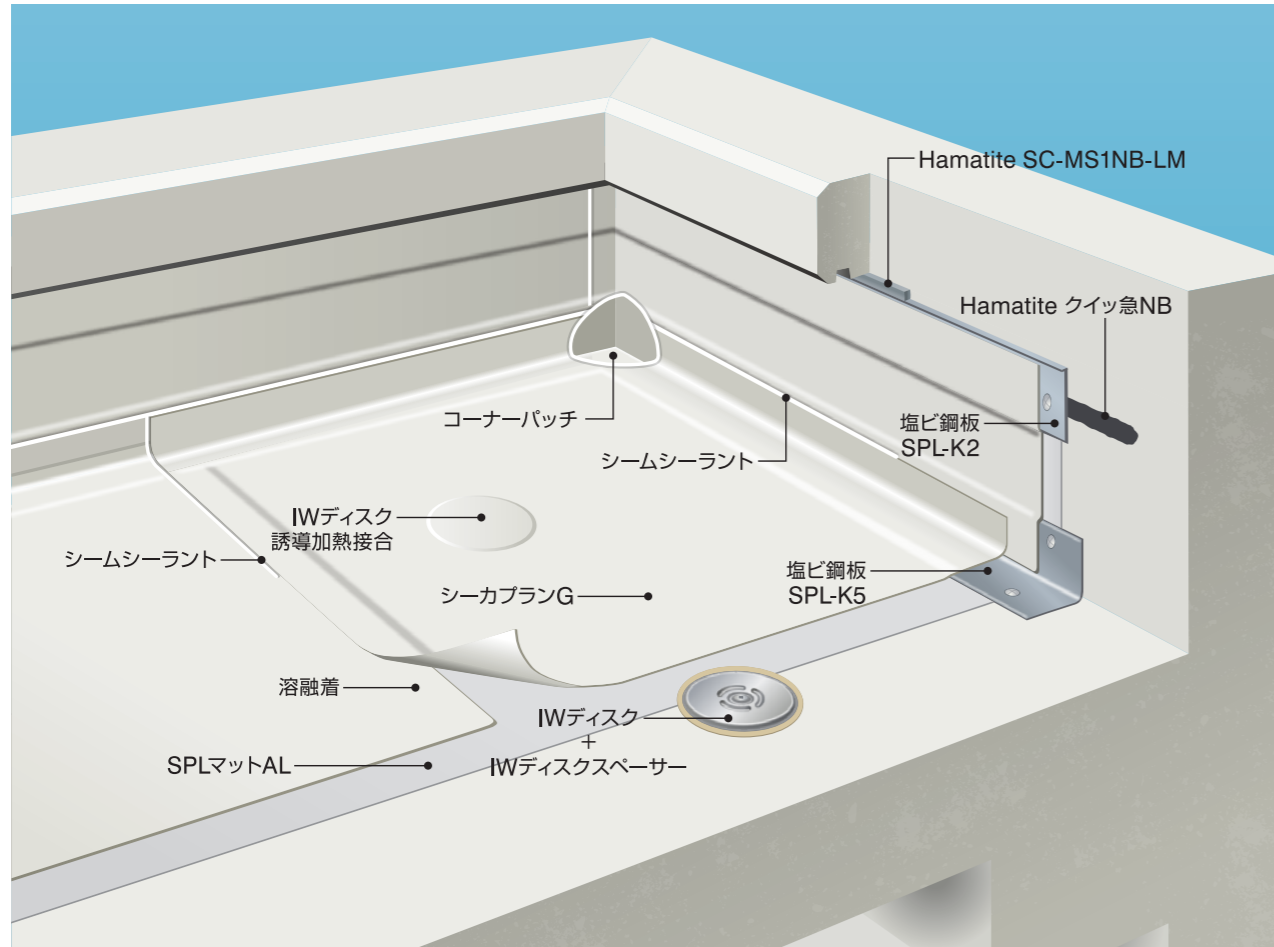
※写真は一例です。

1. 機械的固定工法

IW工法 (立上り部: 機械的固定)

システム記号	シート厚み	高反射	用途		適応下地
			非歩行	歩行	RC
LG-20G-IW	2.0	-	●	●	●
LG-20GW-IW	2.0	●	●	●	●

公共建築工事標準仕様書 S-M2
 公共建築改修工事標準仕様書 S-M2
 日本建築学会 JASS 8 S-PM



■ 施工手順

1. 絶縁シート敷設(必要な場合)	SPLマットAL、SPLエマルジョン100
2. 塩ビ鋼板、IWディスク盤固定	SPL-K各種、IWディスク、SPLアンカー、SPLスクリュー、SPLアルミテープ、IWディスクスペーサー
3. シーカプランG敷設	シーカプランG (ライトグレー、ホワイト)
4. 溶融着接合	SPL溶着剤、シームシーラント
5. 誘導加熱接合	IW自動加熱装置
6. 端処理	SPL-K各種、Hamatite クイック急NB、Hamatite SC-MS1NB-LM、プチルテープ、SPLアンカー、SPLスクリュー

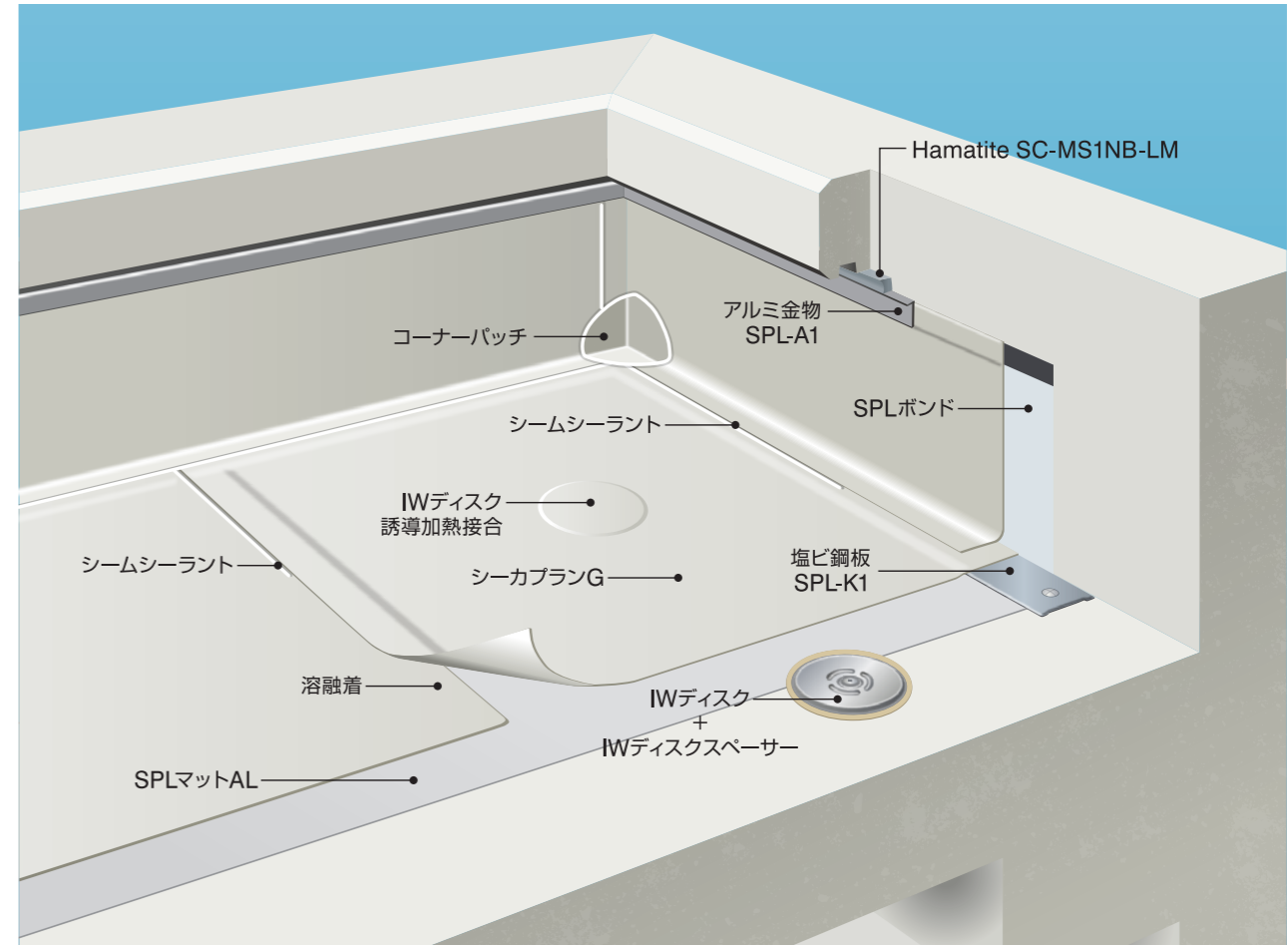
※注意事項
 ・高層の建物(30m以上)や海岸地域に近い建物は別途IWディスク割付の検討が必要です。
 ・IWディスクの下に必ずIWディスクスペーサーを設置してください。
 ・シーカプランGのシート相互接合幅は40mm以上としてください。
 ・入隅部の納めは逆張り(平場シート後張り)のほか、順張り(平場シート先張り)も可能です。
 ・シートの厚みが2.0mmの場合は、歩行可能です。
 ・裏打シール処理は、公共建設工事の場合、新築・改修共にプチルテープを使用する場合があります。
 ・コンクリート葺木部が劣化(欠損・クラック)している場合は、ウレタン防水をご検討ください。防水仕様はP.9~10をご参照ください。

2. 機械的固定工法

IW工法 (立上り部: 接着)

システム記号	シート厚み	高反射	用途		適応下地
			非歩行	歩行	RC
LG-20G-IW	2.0	-	●	●	●
LG-20GW-IW	2.0	●	●	●	●

公共建築工事標準仕様書 S-M2
 公共建築改修工事標準仕様書 S-M2
 日本建築学会 JASS 8 S-PM



■ 施工手順

1. 絶縁シート敷設(必要な場合)	SPLマットAL、SPLエマルジョン 100
2. 塩ビ鋼板、IWディスク盤固定	SPL-K各種、IWディスク、SPLアンカー、SPLスクリュー、SPLアルミテープ、IWディスクスペーサー
3. シーカプランG敷設	シーカプランG (ライトグレー、ホワイト)
4. 溶融着接合	SPL溶着剤、シームシーラント
5. 誘導加熱接合	IW自動加熱装置
6. 端処理	SPL-A各種、Hamatite SC-MS1NB-LM、フィッシャー N5×30/5P、プチルテープ

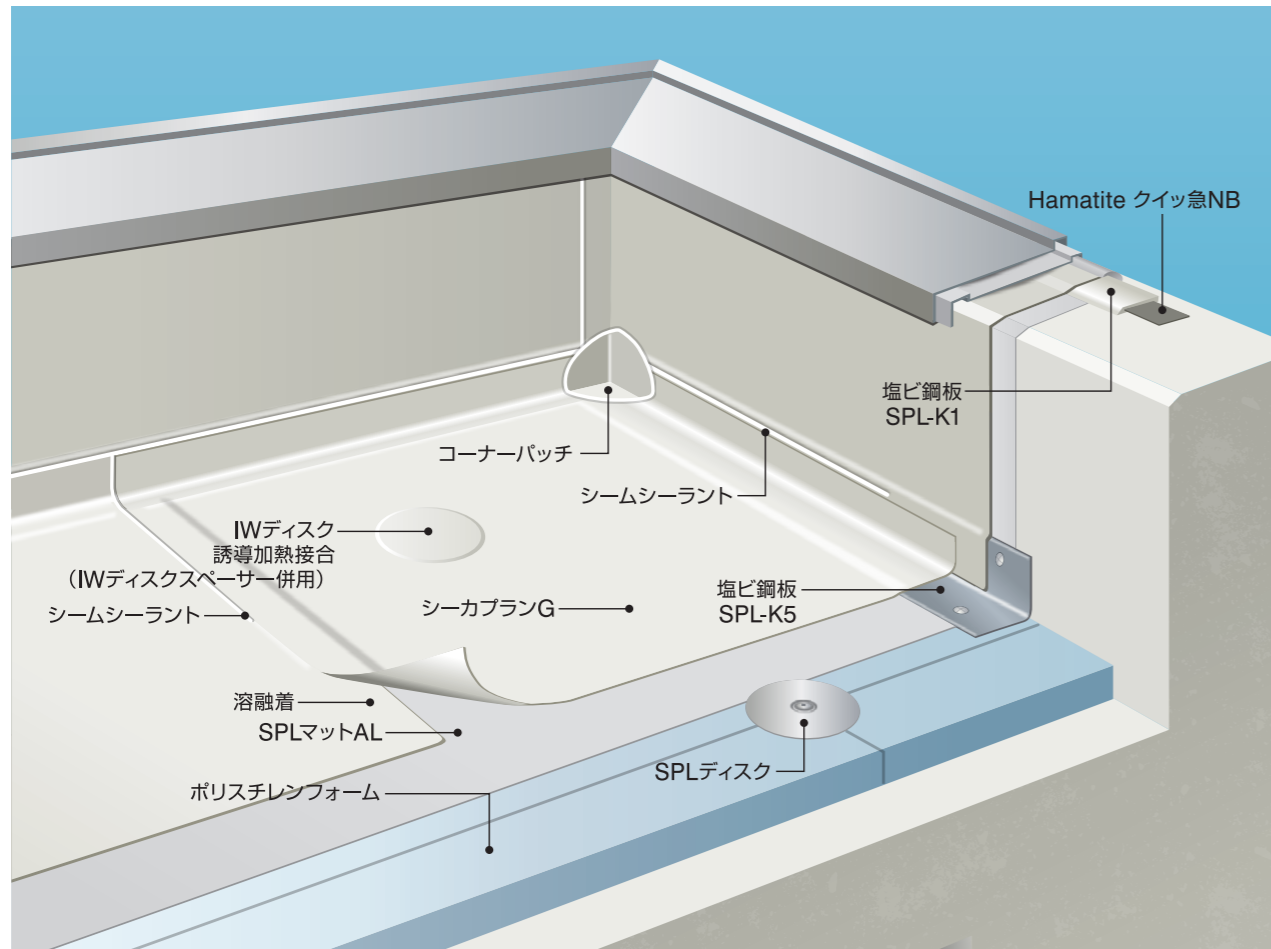
※注意事項
 ・高層の建物(30m以上)や海岸地域に近い建物は別途IWディスク割付の検討が必要です。
 ・IWディスクの下に必ずIWディスクスペーサーを設置してください。
 ・シーカプランGのシート相互接合幅は40mm以上としてください。
 ・シートの厚みが2.0mmの場合は、歩行可能です。
 ・コンクリート葺木部が劣化(欠損・クラック)している場合は、ウレタン防水をご検討ください。防水仕様はP.9~10をご参照ください。

3. 機械的固定工法

IW断熱工法（立上り部：機械的固定） ポリスチレンフォーム

システム記号	シート厚み	断熱材種類	高反射	用途		適応下地 RC
				非歩行	歩行	
LG-20G-IW-S	2.0	ポリスチレン	-	●	-	●
LG-20GW-IW-S	2.0	ポリスチレン	●	●	-	●

公共建築工事標準仕様書 SI-M2
 公共建築改修工事標準仕様書 SI-M2
 日本建築学会 JASS 8 S-PMT



■ 施工手順

1. 断熱材の敷設	ポリスチレンフォーム、SPLディスク、SPLスクリュー
2. 絶縁シート敷設	SPLマットAL、SPLエマルジョン100、SPLテープ
3. 塩ビ鋼板、IWディスク盤固定	SPL-K各種、IWディスク、SPLアンカー、SPLスクリュー、IWディスクスペーサー、SPLアルミテープ
4. シーカプランG敷設	シーカプランG (ライトグレー、ホワイト)
5. 溶融着接合	SPL 溶着剤、シームシーラント
6. 誘導加熱接合	IW自動加熱装置
7. 端末処理	SPL-K各種、Hamatite クイツ急NB、Hamatite SC-MS1NB-LM、プチルテープ、SPLアンカー、SPLスクリュー

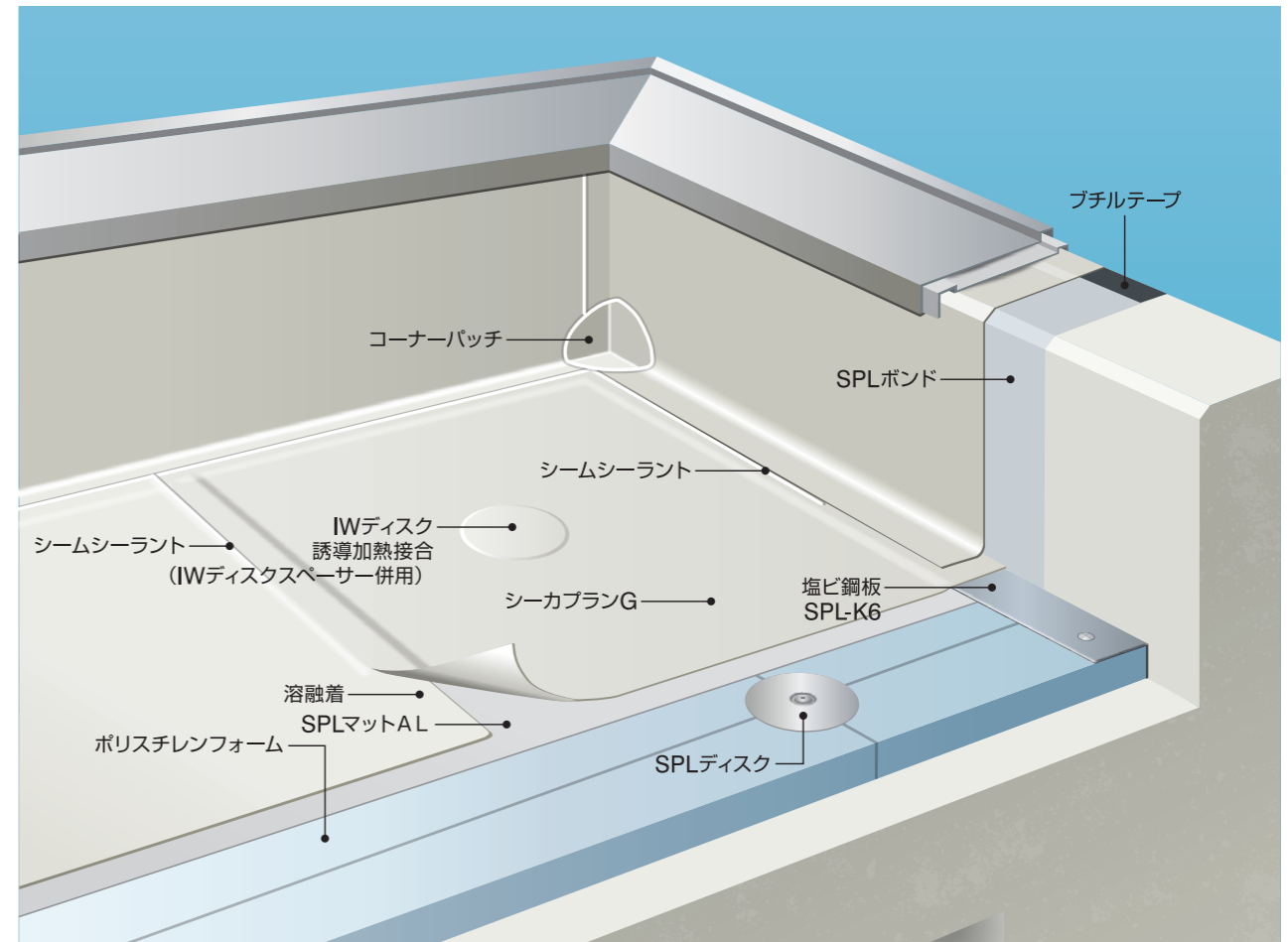
- ※注意事項
- ・高層の建物(30m以上)や海岸地域に近い建物は別途IWディスク割付の検討が必要です。
 - ・IWディスクの下に必ずIWディスクスペーサーを設置してください。
 - ・シーカプランGのシート相互接合幅は40mm以上としてください。
 - ・入隅部の納めは逆張り(平場シート後張り)のほか、順張り(平場シート先張り)も可能です。
 - ・非歩行仕様です。
 - ・断熱材の厚みは50mm以下です。
 - ・既存下地と断熱材の間にSPL防湿シートを敷設する場合があります。
 - ・裏打シール処理は、公共建設工事の場合、新築・改修共にプチルテープを使用する場合があります。

4. 機械的固定工法

IW断熱工法（立上り部：接着） ポリスチレンフォーム

システム記号	シート厚み	断熱材種類	高反射	用途		適応下地 RC
				非歩行	歩行	
LG-20G-IW-S	2.0	ポリスチレン	-	●	-	●
LG-20GW-IW-S	2.0	ポリスチレン	●	●	-	●

公共建築工事標準仕様書 SI-M2
 公共建築改修工事標準仕様書 SI-M2
 日本建築学会 JASS 8 S-PMT



■ 施工手順

1. 断熱材の敷設	ポリスチレンフォーム、SPLディスク、SPLスクリュー
2. 絶縁シート敷設	SPLマットAL、SPLマット、SPLエマルジョン100、SPLテープ
3. 塩ビ鋼板、IWディスク盤固定	SPL-K各種、IWディスク、SPLアンカー、SPLスクリュー、IWディスクスペーサー、SPLアルミテープ
4. シーカプランG敷設	シーカプランG (ライトグレー、ホワイト)
5. 溶融着接合	SPL 溶着剤、シームシーラント
6. 誘導加熱接合	IW自動加熱装置
7. 端末処理	SPL-A各種、Hamatite SC-MS1NB-LM、フィッシャー N5×30/5P、プチルテープ

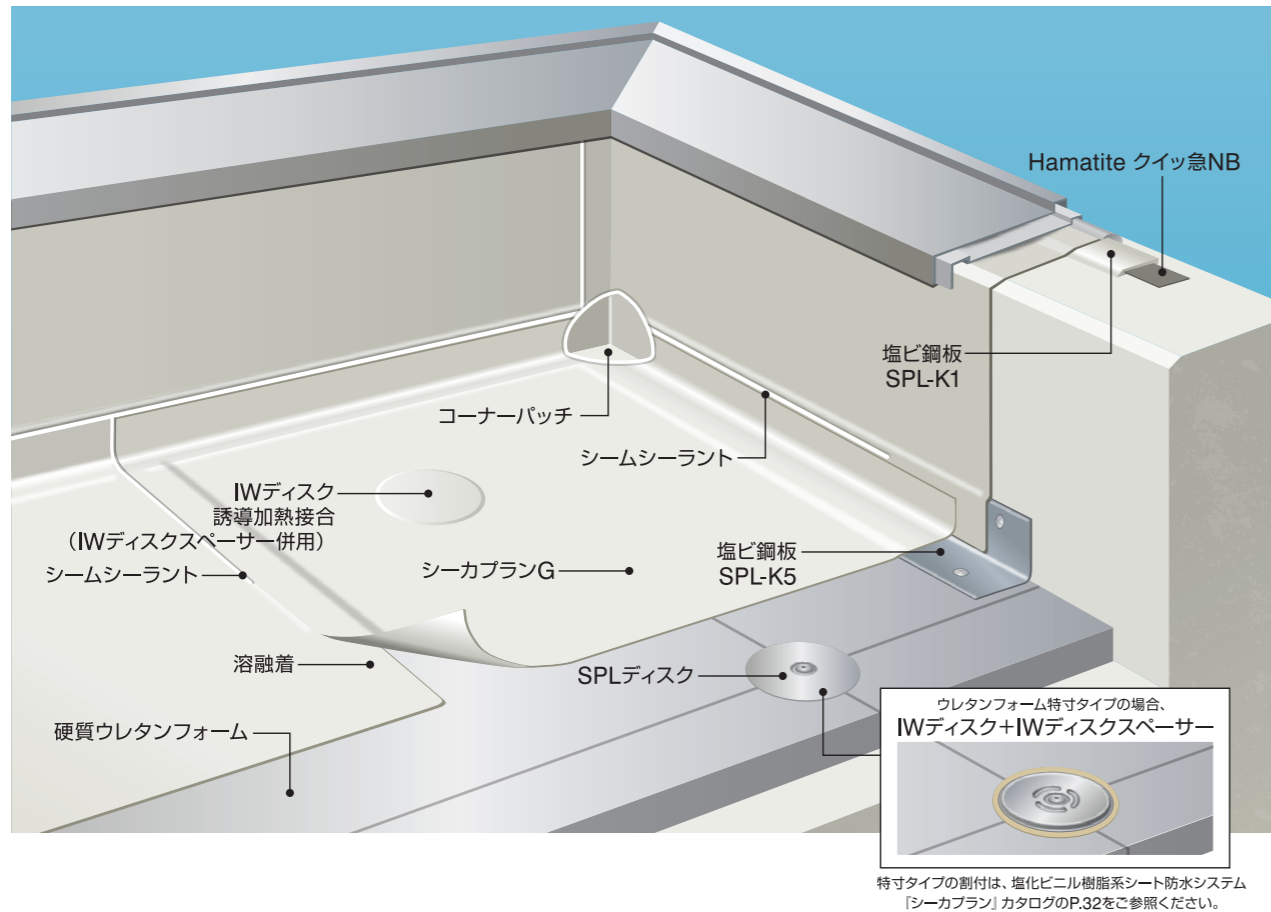
- ※注意事項
- ・高層の建物(30m以上)や海岸地域に近い建物は別途IWディスク割付の検討が必要です。
 - ・IWディスクの下に必ずIWディスクスペーサーを設置してください。
 - ・シーカプランGのシート相互接合幅は40mm以上としてください。
 - ・非歩行仕様です。
 - ・断熱材の厚みは50mm以下です。
 - ・既存下地と断熱材の間にSPL防湿シートを敷設する場合があります。

5. 機械的固定工法

IW断熱工法（立上り部：機械的固定） 硬質ウレタンフォーム

システム記号	シート厚み	断熱材種類	高反射	用途		適応下地 RC
				非歩行	歩行	
LG-20G-IW-UR	2.0	硬質ウレタン	-	●	-	●
LG-20GW-IW-UR	2.0	硬質ウレタン	●	●	-	●

公共建築工事標準仕様書 SI-M2
 公共建築改修工事標準仕様書 SI-M2
 日本建築学会 JASS 8 S-PMT



特寸タイプの割付は、塩化ビニル樹脂系シート防水システム「シーカプラン」カタログのP.32をご参照ください。

■ 施工手順

1. 断熱材の敷設	硬質ウレタンフォーム、SPLディスク、SPLスクリュー
2. 塩ビ鋼板、IWディスク盤固定	SPL-K各種、IWディスク、SPLアンカー、SPLスクリュー、IWディスクスペーサー、SPLアルミテープ
3. シーカプランG敷設	シーカプランG (ライトグレー、ホワイト)
4. 溶融着接合	SPL 溶着剤、シームシーラント
5. 誘導加熱接合	IW自動加熱装置
6. 端末処理	SPL-K各種、Hamatite クイツ急NB、Hamatite SC-MS1NB-LM、プチルテープ、SPLアンカー、SPLスクリュー

※注意事項

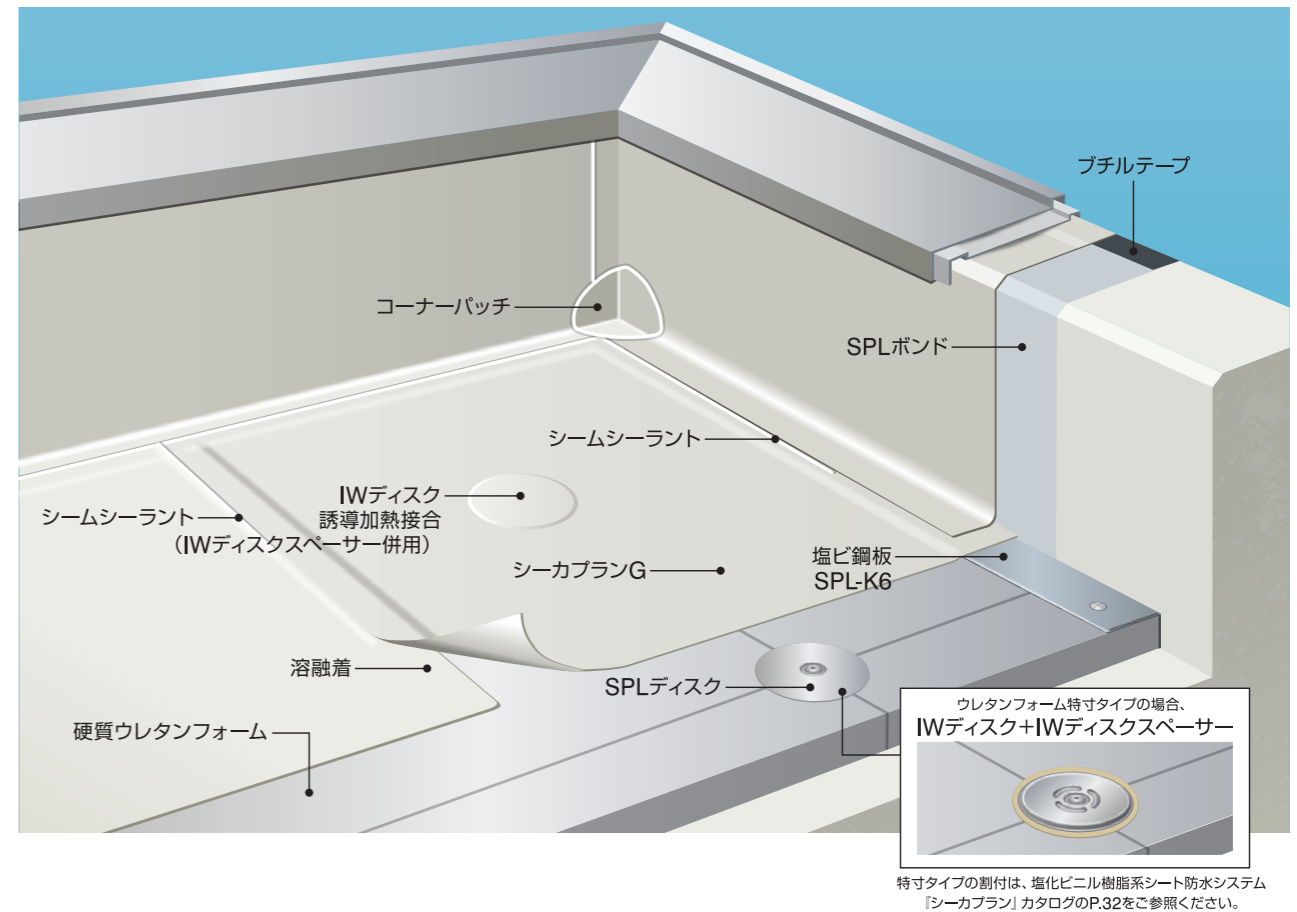
- ・高層の建物(30m以上)や海岸地域に近い建物は別途IWディスク割付の検討が必要です。
- ・IWディスクの下に必ずIWディスクスペーサーを設置してください。
- ・シーカプランGのシート相互接合幅は40mm以上としてください。
- ・入隅部の納めは逆張り(平場シート後張り)のほか、順張り(平場シート先張り)も可能です。
- ・非歩行仕様です。
- ・断熱材の厚みは50mm以下です。
- ・既存下地と断熱材の間にSPL防湿シートを敷設する場合があります。
- ・裏打シール処理は、公共建設工事の場合、新築・改修共にプチルテープを使用する場合があります。

6. 機械的固定工法

IW断熱工法（立上り部：接着） 硬質ウレタンフォーム

システム記号	シート厚み	断熱材種類	高反射	用途		適応下地 RC
				非歩行	歩行	
LG-20G-IW-UR	2.0	硬質ウレタン	-	●	-	●
LG-20GW-IW-UR	2.0	硬質ウレタン	●	●	-	●

公共建築工事標準仕様書 SI-M2
 公共建築改修工事標準仕様書 SI-M2
 日本建築学会 JASS 8 S-PMT



特寸タイプの割付は、塩化ビニル樹脂系シート防水システム「シーカプラン」カタログのP.32をご参照ください。

■ 施工手順

1. 断熱材の敷設	硬質ウレタンフォーム、SPLディスク、SPLスクリュー
2. 塩ビ鋼板、IWディスク盤固定	SPL-K各種、IWディスク、SPLアンカー、SPLスクリュー、IWディスクスペーサー、SPLアルミテープ
3. シーカプランG敷設	シーカプランG (ライトグレー、ホワイト)
4. 溶融着接合	SPL 溶着剤、シームシーラント
5. 誘導加熱接合	IW自動加熱装置
6. 端末処理	SPL-A各種、Hamatite SC-MS1NB-LM、フィッシャー N5×30/5P、プチルテープ

※注意事項

- ・高層の建物(30m以上)や海岸地域に近い建物は別途IWディスク割付の検討が必要です。
- ・IWディスクの下に必ずIWディスクスペーサーを設置してください。
- ・シーカプランGのシート相互接合幅は40mm以上としてください。
- ・非歩行仕様です。
- ・断熱材の厚みは50mm以下です。
- ・既存下地と断熱材の間にSPL防湿シートを敷設する場合があります。

塩ビシート+ウレタン塗膜防水複合仕様

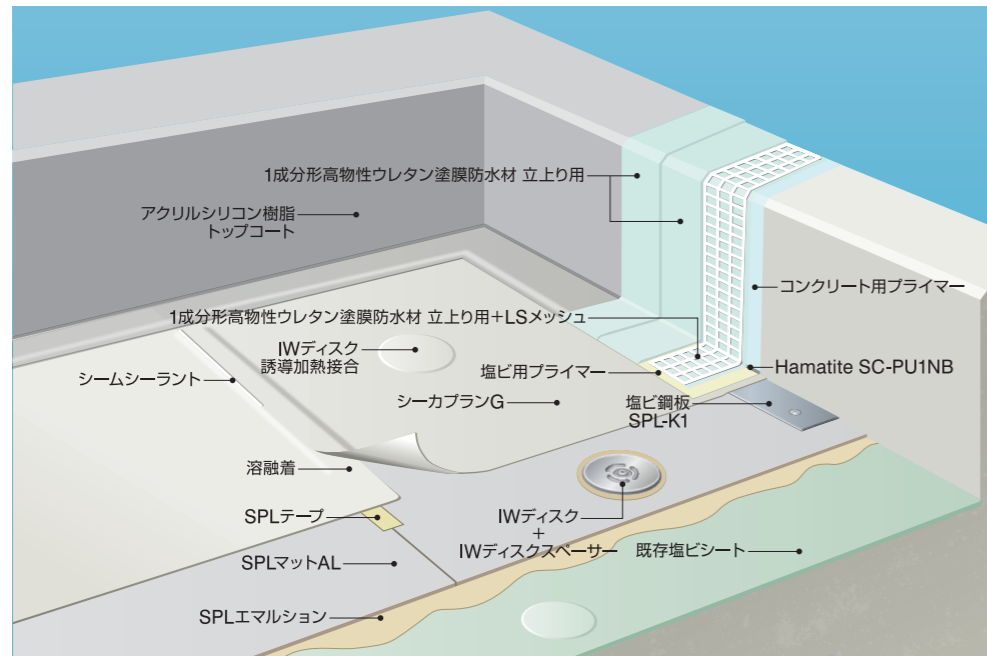
シーカプランと1成分形高物性ウレタン塗膜防水材 高品質なコラボレーションした長期保証システム

高品質な塩ビシートシステム (平場)と1成分形ウレタン塗膜防水材(立上り)の理想的な組み合わせです。

高耐久な塩ビシートで高い施工品質を誇る「シーカプラン防水システム」を平場に施し、多様な形状がある立上りには、施工効率・品質に優れる1成分形ウレタン塗膜防水を施すことにより、シートと塗膜防水材の長所を徹底的に生かした新発想の防水システムです。改修工事をもとより、新築工事における外断熱工法では金属笠木などパラペット防水納まりのさまざまな制約からデザインを開放し、居室空間の確保をはじめ様々なメリットがあります。

非断熱工法

■ 基本構成図



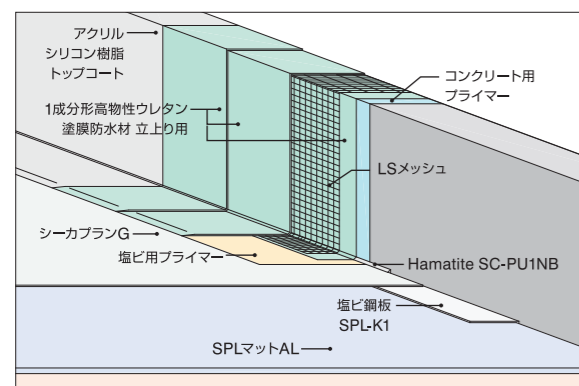
平場部：シーカプラン
塩ビシート防水機械的固定(IW)工法

システム記号	シート厚み	用途	適応下地
LG-20G (W) -IW	2.0	歩 行	RC

立上り部：
1成分形ウレタン塗膜防水材密着工法 LG-ZHM-200LM

工法種別	適応下地
メッシュ有り	RC

■ 取り合い部詳細



■ 施工手順

(シーカプランの施工手順はp.3～4を参照ください。)

立上り部：
1成分形ウレタン塗膜防水材密着工法 メッシュ有り LG-ZHM-200LM

工程	使用材料	使用量
1	コンクリート下地：コンクリート用プライマー	0.2kg /㎡
	シーカプラン下地：塩ビ用プライマー	0.15kg /㎡
2	1成分形高物性ウレタン塗膜防水材 立上り用	0.4kg /㎡
3	LSメッシュ	1.1m /㎡
4	1成分形高物性ウレタン塗膜防水材 立上り用	1.1kg /㎡
5	1成分形高物性ウレタン塗膜防水材 立上り用	1.1kg /㎡
6	アクリルシリコン樹脂トップコート (2回塗)	0.3kg /㎡

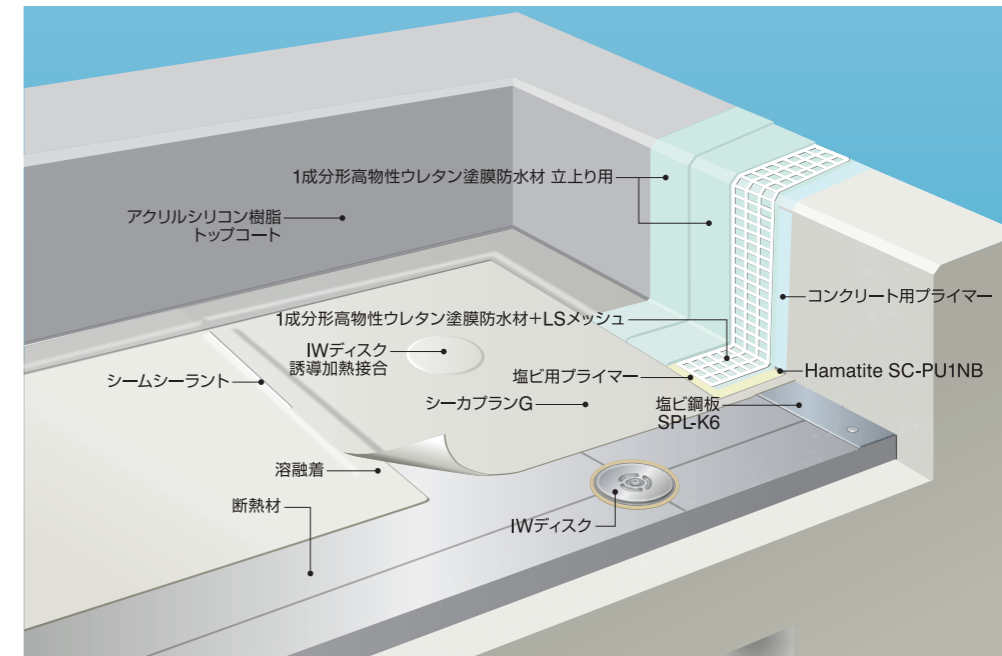
※各種下地に応じたプライマーを使用してください。

※注意事項

- ・シーカプランGのシート相互接合幅は40mm以上としてください。
- ・1成分形高物性ウレタン塗膜防水材 立上り用は、必ず2mm以上の厚さが確保できるように塗布してください。
- ・ウレタン塗膜防水施工前に入隅部塩ビ鋼板端部は必ずウレタン系シーリング材を充填してください。(Hamatite SC-PU1NB推奨)
- ・シーカプランGと1成分形高物性ウレタン塗膜防水材 立上り用の取り合い部は必ず塩ビ用プライマーを使用し、ラップ幅は100mm以上としてください。
- ・1成分形高物性ウレタン塗膜防水材は平場用、立上り用、中粘度があります。形状に応じて使用してください。
- ・当該工法は平場のシーカプランGと立上りの1成分形ウレタン塗膜防水工法をセットで適用する工法であって、立上り部だけ単独で適用できる工法ではありません。

断熱工法

■ 基本構成図



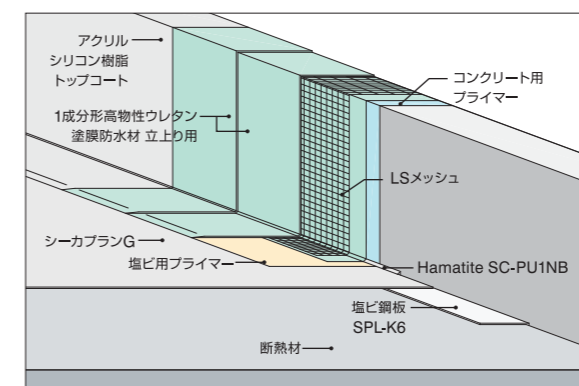
平場部：シーカプラン
塩ビシート防水機械的固定(IW)工法

システム記号	シート厚み	用途	適応下地
LG-20G (W) -IW-S又はUR	2.0	歩 行	RC

立上り部：
1成分形ウレタン塗膜防水材密着工法 LG-ZHM-200LM

工法種別	適応下地
メッシュ有り	RC

■ 取り合い部詳細



■ 施工手順

(シーカプランの施工手順はp.5～8を参照ください。)

立上り部：
1成分形ウレタン塗膜防水材密着工法 メッシュ有り LG-ZHM-200LM

工程	使用材料	使用量
1	コンクリート下地：コンクリート用プライマー	0.2kg /㎡
	シーカプラン下地：塩ビ用プライマー	0.15kg /㎡
2	1成分形高物性ウレタン塗膜防水材 立上り用	0.4kg /㎡
3	LSメッシュ	1.1m /㎡
4	1成分形高物性ウレタン塗膜防水材 立上り用	1.1kg /㎡
5	1成分形高物性ウレタン塗膜防水材 立上り用	1.1kg /㎡
6	アクリルシリコン樹脂トップコート (2回塗)	0.3kg /㎡

※各種下地に応じたプライマーを使用してください。

※注意事項

- ・シーカプランGのシート相互接合幅は40mm以上としてください。
- ・1成分形高物性ウレタン塗膜防水材 立上り用は、必ず2mm以上の厚さが確保できるように塗布してください。
- ・ウレタン塗膜防水施工前に入隅部塩ビ鋼板端部は必ずウレタン系シーリング材を充填してください。(Hamatite SC-PU1NB推奨)
- ・シーカプランGと1成分形高物性ウレタン塗膜防水材 立上り用の取り合い部は必ず塩ビ用プライマーを使用し、ラップ幅は100mm以上としてください。
- ・1成分形高物性ウレタン塗膜防水材は平場用、立上り用、中粘度があります。形状に応じて使用してください。
- ・当該工法は平場のシーカプランGと立上りの1成分形ウレタン塗膜防水工法をセットで適用する工法であって、立上り部だけ単独で適用できる工法ではありません。